

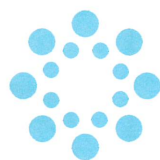


滋賀に残る

戦争遺跡

― 湖北・湖西編 ―

未来へつなぐ 戦争の記憶 平和への思い



滋賀県平和祈念館

滋賀に残る 戦争遺跡 — 湖北・湖西編 —

■概要

日本は中国やアメリカ、イギリスなどの連合軍と戦争を行いました。当時の日本は軍国主義になり国民が総動員で戦争に協力をさせられました。全国各地には多くの軍事施設が建設されました。やがて戦況が不利になり、各地で空襲などの被害を受けるようになっていきます。昭和20年の終戦まで滋賀県内にあった軍事施設や、当時の空襲の痕跡が今も残っています。そうした戦争遺跡を通じて、戦争の歴史を今に伝えます。



導入

滋賀と戦争

軍事施設

▶ 饗庭野演習場・木造兵舎 (高島市)

現在の陸上自衛隊今津駐屯地内には陸軍が使っていた兵舎が今も残っています

▶ 舟木飛行場跡 (高島市)

八日市飛行場の琵琶湖の対岸には飛行発着訓練のために使った舟木飛行場がありました。現在は滋賀県立びわ湖こどもの国になっています

▶ 磯山射撃場監的壕 (米原市) / 大依山射撃監的壕 (長浜市)

監的壕とは兵士たちが射撃の訓練を行う際に的を出し入れした場所です。今はコンクリートの壕だけが残っています

▶ 捕虜収容所・水道枡 (米原市)

敵兵士を捕虜として収容する場所が梅ヶ原あたりにありました。山から水を引いた水道枡だけが当時をしのばせます



饗庭野演習場・木造兵舎



大依山射撃監的壕

くらし

▶ 奉安殿 (長浜市)

学校生活は毎朝“奉安殿”と呼ばれる建物を礼拝することから始まります。そこには天皇陛下の写真や教育勅語が保管されていました

▶ 西福寺コンクリート梵鐘 (高島市)

戦争が長期化すると兵器を作るための金属が不足しました。軍は国民からあらゆる金属類を供出させました

▶ 旧柏原村穀物倉庫 (米原市) / 黒塗り土蔵 (長浜市)

空襲から人々や建物を守るために目立つ建物を黒く塗り、敵機から発見されにくくしました



一ノ宮神社・奉安殿



西福寺・コンクリート梵鐘

避難・監視施設

▶ 旧横山隧道 / 旧観音坂隧道 (長浜市～米原市)

軍事物資を敵機の攻撃から守るため、トンネル内に兵器や砲弾を格納しました

▶ 岩脇列車壕 (米原市)

輸送の中心となっていた列車(蒸気機関車)も敵機の攻撃から守るためトンネルを掘って隠そうとしました。その遺跡が今も残っています

▶ 防空監視哨 (高島市)

空襲から人々が避難するためには、いち早く敵機を発見する必要があります。高い建物の上に監視哨をつくり監視員が常に見張っていました



岩脇列車壕



防空監視哨

空襲

▶ 角川の空中戦 (高島市)

アメリカ軍艦載機と日本軍機の空中戦があったことを地元の方が今も記憶されています

▶ 工場内・銃痕跡 (長浜市) / 明光寺・銃痕跡 (米原市)

滋賀県にも多くのアメリカの敵機が来襲し攻撃を受けました。当時の攻撃を今に伝えています



KBセーレン長浜工場・銃弾痕



明光寺・銃弾痕

終章

未来へつなぐ 戦争の記憶 平和への思い

収録時間: 22分
2023年3月 制作

【映像の貸出し・お問い合わせ先】

映像の貸出しについてのお問い合わせは滋賀県平和祈念館までお願いします。また貸出しの本数に限りがあります。ご了承ください。



滋賀県平和祈念館

〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地
開館時間 9時30分～17時
休館日: 月曜日・火曜日 (祝日にあたる場合は開館)
年末年始
その他、業務の都合により休館する場合があります
電話番号: 0749-46-0300
FAX番号: 0749-46-0350
E-mail: heiwa@pref.shiga.lg.jp